

2023年 オープンソースの生成 AI に関する調査レポート

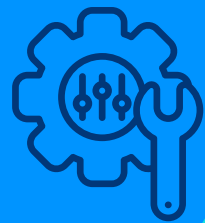
ジェネレーティブAI (生成AI) は企業にとって重要な要素であり、回答者の50%の組織がプロダクションコンテキストで使用しています。



調査対象となった企業の過半数 (60%) が生成AIへの大規模な投資を計画しており、IT予算の大部分をこのテクノロジーに割り当てています。



生成AIは将来計画の重要な要素。調査対象企業の63%が、将来にとって非常に重要、または中程度に重要であると感じています。



調査対象となった企業の大半は、自社のニーズに合わせてカスタマイズし、既存の製品に組み込んだり、生成AIを中心とした新製品を開発する意向です。

一般的に、調査対象となった組織の41%がオープンソースの生成AIテクノロジーを好むのに対し、プロプライエタリなソリューションを好むのは9%でした。



セキュリティは、組織が生成AI関連プロジェクトの導入を計画していない主な理由ですが、プロプライエタリなソリューションがオープンなものよりも安全だとは考えられていません。



回答者によると、オープンソースの生成AIは、プロプライエタリなソリューションよりも、コラボレーション、イノベーション、統合の容易さをサポートする上で優れていると考えられています。



オープンソースの生成AIは、回答者の69%がデータの管理と透明性の向上につながると回答しています。



オープン性は重要。回答者の63%は、自社が使用または開発している生成AIシステムのオープン性に非常に、または中程度の懸念を抱えています。



生成AI技術のスケラビリティと精度に関しては、プロプライエタリとオープンソースのソリューションが同じように回答者に好まれています。

回答者のほぼ全員 (95%) によると、中立性は生成AIガバナンスの重要な側面です。



生成AIの長期的な持続可能性については、プロプライエタリなソリューション (32%) よりもオープンソースのソリューション (43%) が好まれます。

